

石岡市立小中学校統合再編計画保護者説明会（三村小） 要旨

日時 令和2年1月21日（火） 午後7時から午後8時30分

場所 石岡市立三村小学校 体育館

執行部 児島教育長，豊崎部長，吉澤次長，倉本参事，神谷参事兼教育総務課長，関指導室長，細谷副参事，小川課長補佐，海東係長

参加者 18名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明

資料

- ・石岡市立小中学校統合再編計画
- ・主な自由意見（アンケート）

5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

～～～ 次第に沿って4.統合再編計画に係る説明まで行なう ～～～

（参加者）

このような場合は情報公開というか，意思決定までのプロセスというものも透明にしておくという事も大切だと思うのですが，これは市のホームページなどで公開していただけるのかという認識で間違いないのか

（事務局）

ご意見等につきましてホームページなどで公開させていただきながら進めていきたいと思えます。また，統合検討委員会が実際に立ち上がりましたら，今度は統合だよりという形で皆様にご案内を差し上げていく形になります。

（参加者）

統合計画の中で，高浜小・三村小・関川小の3校はどうしても人数も少ないので統合やむなしという事だと思うのですが，ここでなぜ南小にという事になるのかなという事をもう少し詳しく説明お願いいたします。それと，クラス替えが必要ということなんですが，クラス替えの必要性というのが私にはもう少し理解していない部分がありまして，そのところももう少し詳しく説明お願いいたします。

(事務局)

今回の統合再編計画につきましては、複式学級の解消を図るという事を最優先にしておりますが、3校での統合としても、各学年1学級しか編成できないという事になっております。クラス替えのできる規模という事につきましては、人間関係の固定化を防ぐ事やより広い人間関係を構築できるという環境を整えていきたいという事もございますので、ある程度の人数規模をとる事で、こちらとしては考えているところでございます。

(参加者)

それを踏まえますと、突拍子もない意見になってしまうのではございますが、石岡小一国府中が小中一貫という事になりますが、そこに三村高浜関川が入ってはダメなんですか。

前に、城南中の統合の時に私も参加したのですが、その時も、城南中は石岡中ではなく国府中に一緒になればいいんじゃないですか？という意見がありました。当時の説明では、国府中は府中中との統合になる可能性もあるのではと言われてました。それでは仕方ないということになったんですが。このような計画が後から出てくるのでは、そちらで一緒になって小中一貫になった方が、子どもたちはのびのびといけるんじゃないかと思うんですが。

(事務局)

城南中学校一国府中学校という可能性もあるのではないかというような意見を拝見させていただいております。学区的なつながりや地理的なつながりを見て石岡中学校との統合をしたところでございます。かつ小規模校の中学校となれば、やはり部活の面とかを解消することになりますので、地理的に可能であれば、石岡中学校と城南中学校の統合をという事で、今回平成30年度に統合したところで。そこから見ますと、同じ学区の繋がりという事もありまして、一つのクラス替えができるという事と複式学級の解消という事で計画を考えているところでございます。確かに小規模校の良さというののもいろんな面でメリットもございますし、その裏返しでいろんな面でデメリットもあるのかと思います。

(参加者)

あまり規模を大きくして、子ども達に先生たちの目が行き届かなくても不安です。

(事務局)

統合しますと、それまでの教員の人数に加えまして加配という形で増やしていただけるような措置もございます。まずは統合後の児童のケアという事で重点をおいて行っていきたいと思っております。統合の何年か前からは交流事業を重視させるような形で授業を行っていくような方向でございますので、交流事業については皆さんと話し合いながら行いたいと思っております。

(参加者)

昨年の説明会から内容がほぼ一緒という事がありまして、この1年で何がどう進んだのかという事。再編の年次が令和6年という事が確定なのかどうなのかおうかがいたします。年度がこの時に統合しますよというのがわかっている保護者で、未就学児のお子さんがいらっしゃる方は、三村高浜関川という小学校ではなく、何かと理由付けをして元々南小の

方に行かせたいという保護者の方って結構いらっしやると思います。そういった方々への対応を教えていただければと思います。

(事務局)

昨年度の説明会を行ったなかでも、答申をいただいて統合再編計画を策定する過程の中で、広く皆様に周知を図るという事で、段階を踏んで開催させていただきました。その前年にも懇談会というような形で審議会の過程の中で説明をさせていただいております。毎回いらしていただいている方には進捗が進んでいないような形に聞こえるところもあり、その点については大変申し訳なく思います。アンケートや周知をしていく中ではご存じない方もいらっしやいましたので、そこは少し時間をおかせていただいて、三村小さんにつきましては、夏以降学校にお邪魔させていただいて、まずはPTA本部役員の方にお話しさせていただき、今回の計画を保護者としてご意見をいただきまして、今回の説明会を開催させていただいた次第です。今後、一つ先に進めるのであれば、統合検討委員会が設置されまして、その中で各4校であれば4校の代表者の方、地域の方含めまして協議をしまして、最終的な統合の年度であるとか、統合の場所であるとかを決めていくような形になります。今、令和6年度という事でお話いただきましたが、現時点では確定ではないというところです。最終的に確定するというのは、検討委員会で合意を得た中で決めていくということになります。しかしながら、保護者の皆さんからすると、まずいつ統合するのかが知りたいという事がございますので、最初の取り組みとして、その部分を決めまして皆様に発信していきたいと思えます。

未就学児の方が指定校変更等で、就学時から他校へという事については、統合による先行した区域外の指定校の変更は理由として認めていないところです。その旨お話しをいただいた方には説明させていただいておりますが、転居するような形などで、入学のタイミングで南小であったり東小であったりと、実際には違うところにいるようなことが実際にはあるようでございます。ですけれども、統合を理由としたものは認めていないという形でございますので、ご了承いただければと思います。

(参加者)

具体的に統合の年度が決まった後なんですけれども、実質的な統合までの移行移管というのはどれくらいになるのでしょうか。

(事務局)

1年とか2年のタイミングでは難しいと考えております。石岡中学校ー城南中学校の統合再編を見ましても、八郷中学校の統合再編を見ましても間3年から4年程度は統合の準備として必要な期間があるかなと思っております。来年度統合検討委員会が立ち上がりまして決まったとしても、1年とか2年では統合は難しいと思っております。それは、バスのルートの問題、通学路の問題や、学級編成や施設整備の面とかの調整が必要となりますので、ある程度の期間が必要になってくるものと思えます。ですので、準備期間が4年5年となりますと令和5年度とか令和6年というような流れになるかなという風には想定してお

りますが、現時点での明言はできないところです。

(参加者)

この資料の中で交通費の心配をしている方というのが多いようなんですが、この資料の中に具体的にバスにいくら使ってますという資料がないようなんですが、その所を教えてくださいなと思います。

(事務局)

バスの費用のところでは、一ヶ月 3,000 円をご負担いただいているところがございます。石岡中学校の保護者様にも 3,000 円という事でご負担いただいているところです。市内バスを回して乗っていただく際には、市内全体でも同じように 3,000 円ご負担いただいております。ただし、今言われたようなご意見というのは多数いただいておりますので、施策として考えていくべきかどうかというのは、今の時点で明言はできませんが、今後の課題であると思っておりますので、こういった意見を頂きながら考えていきたいと思っております。

(参加者)

統合やむなしという事は皆さんなんとなく思っているところではあるかと思うんですけども、そのような中で、どうせだったらポジティブな前向きなご意見やお考えだったりというのを、もっとPRというかアピールだったりというのを頂ければという事を、その時は事務局の皆さんとお話をさせていただいたんですけども、前向きなご意見をお一人お一人お話いただければと、突然の事で申し訳ないんですけどもお願いいたします。

(参加者)

統廃合についてはやむなしという事で共通認識であるとは思うんですけども、例えば、このように説明会を開いていただいて、周知も十分していただいているとは思いますが、今後の展開として、具体的にどのようになっていくとかという部分が、皆さんまだ不透明なところもあり、統廃合してからの不安がやはり大きいと思います。教育委員会としてどのように考えているとか、こういう対策をしたらいいんじゃないかというのを意見としてあれば聞いておきたいなというのがあると思います。一つは少人数とか複式だからダメだという言い方が先行して、だから統廃合だということもあるとは思うんですけども、今のところ小規模校に自分たち保護者が子供を通わせていて、デメリットを感じておらず、自分たちの置かれている状況に満足しているところがあります。一番は子供たちの環境が最優先なんですけれども、自分たちの子供が人数の多い学校に普段通うという事にも不安があって、小規模校としてのメリットが、人数の多い学校に入ったとしても担保されるのかとか、交通手段のところでも、一人目は全額払ったとしても、二人目は半額、三人目は免除するかとかそういった提案を以前しましたが、そういった負担的なものでもいいので聞かせていただきたい。計画があっても不安要素ばかりがあって、どうしていった方がいいのかなという思いもあります。ほかの自治体でもすでに統廃合は進んでいるところもありますし、そういった事例なんかも含めて、こういったところではこうしてますとかが見えると、少し安心感というかそういうのに繋がっていくのかなと思います。

(事務局)

南小学校を統合するような施設として考えているわけなんですけど、築年数が相当経過していることが課題となっております。統合する学校として使うのであれば、子どもたちが気持ちよく学校生活が送れるように、施設整備の面で充実したものに改修していけるように考えております。今後の修繕改修計画については、長寿命化計画というのを石岡市で策定していきます。それは市内全域で小中学校の施設整備の面で長寿命化計画を立てて今後学校施設を、さらによりよく使いたいという趣旨でございます。それと併せまして、南小学校も大規模な改修をし、児童生徒さんが気持ちよく学校施設を使えるような環境整備をしていきたいと考えています。それから、バスにはなりますけれども、通学の面で今よりもよりよく安全に学校に行けるように考えていきたいと思っております。今、石岡中学校区でのバスが走っていますけれども、同様に学校の中まで入れるような形で、安全性を考えながら検討していきたいと思っております。

小規模校の良さもあるでしょうし、皆さん今の環境の中で非常に満足されているところもあるかと思えます。複数クラスができることで、多様な考えで自分の考えの他に皆さん大勢いればグループ討議やグループ学習の中でも非常に効果があるところではあると思えますので、そういった部分はより充実した学習環境を目指したいなと思っております。

(事務局・参事兼総務課長)

小規模校のメリットといいますか、今の状況で子どもたち、保護者の皆さんも和気藹々できていてなんの不安も感じていないというような話がありましたが、実は私の子供も統合を経験しております。私も保護者として統合を経験しております。市町村合併前なんですけど、八郷に朝日里山学校というのがあるのをご存じかと思うんですけども、その前は朝日小学校という小学校でした。平成16年の3月31日をもって小桜小学校と統合となりました。統合の話が出た時には、当時の私たちも、わざわざ統合しなくても、保護者も子供たち和気藹々できていて何の不安もないということで思っておりました。確かに子どもたち児童数が減ってきて、規模でいいますと今の関川小学校と同じくらいの規模になりましたが、このままで行った方がいいんじゃないかという保護者の意見が多かったです。ただ、保護者同士で話し合っていく中で、地域も含めて話合っていく中で、地域の皆さんは、今小学校に通っている保護者の考えが一番なのだから保護者で話し合ってくれという事で話し合った結果、やはりこれから先の子供たちの将来を考えた時に、中学校に行けばさらに人数が増えるのだから、その前段として小学校の中でもある程度的人数での学校での経験が大事であろうとの事で、統合に向かって進んでいきました。いざ統合してみると、子どもたちはそれほどでもないんですね、すぐに仲の良い友達がでたりして、これまでは30人そこそこの学校だったので、親も全員子供を知ってますし、子どもたちも全員、全校生徒の事を知っているのだから、家に帰ってきて学校の話、特に友達の話なんてしなかったんですけど、いざ統合したとなると、新しい友達ができてきて「だれだれちゃんと友達になった」とか「だれだれちゃんと今度遊ぶんだ」とか学校での話を今まで以上にするようになったというの

があります。それを聞くと大人数になるのもいいことがあるんだなというように保護者としては思いました。あとは学校の行事ですね。運動会とか学校の遠足とかについても、運動会なんかは特に、子どもたちが少なければ、上の学年と一緒に徒競走をしたり、運動会の種目が始まってすぐに終わってしまう。逆に保護者の種目が多いくらい。当然保護者も子どもたちも楽しみましたけど、そういう部分でも大人数になるといろんな種目ができるという事で、保護者としては統合して良かったなと思う部分でした。私が今事務局側に座っているので、統合を進める立場というのもありますけれども、私の実体験の話で申し訳ないのですが、当時私が保護者として感じたことはそういう事であります。

(事務局・教育次長)

今の八郷中学校が、柿岡中学校と有明中学校と八郷南中学校との統合の時に、子供が柿岡中学校におりました。その前は葦穂小学校でして、私の子どもたち一クラスの人数が7名の中でおりました。そうしますと7名ですので小規模校のメリットとして皆さんお感じになっていると思うのですが、家庭教師を雇っているのと同じような状況で、先生の日も非常に行き届きますし、幸いにして子どもたちも非常に仲の良いクラスでしたので、小規模校のメリットはとても享受した中で小学校は育っていました。ただ、何と云っても小規模校ですので、クラス運営として、担任を入れて4人で分けてグループ活動を行っても、なかなか多様な意見が出てこない、というような部分がありました。担任の目が行き届くので、学業がついていかないという事はないのですが、切磋琢磨する機会が少ないので、思うように伸びてくれない。これがもう少し大きい規模で切磋琢磨していければ、もう少し伸びたんじゃないかなというところもございました。その後、柿岡中学校に進みまして、八郷中学校ということで、5クラスとか大きな人数になったところなんですけど、皆さん不安はあったところなんですけど、加配とかそういったところで先生方の人数、それから先生方も統合の中という事ですごく頑張ってくださいまして、運営の方も滞りなくできてという状況でした。やはり案ずるより産むがやすしという事で実体験として感じておりました。

今回の統合のなかでも、施設面について全部が全部100%建て直しとはいかないんですけども、リニューアルをする中で、学習環境の備品であったりとかの部分での充実でなど、このままで行くよりはもっと充実した対応ができるかなと考えております。

(事務局・部長)

以前、他の部署にいた時に、府中中学校でPTAの会長をしていたものですから、審議委員として参加させていただきました。適正規模・適正配置について計画書の4ページについて、当初1年で審議を終了する予定でしたが、まとまらず2年かかったという事がございます。小学校での2クラス以上という事にはいろいろな意見がありました。そこには、小規模校の意見もありますし、大規模校の意見もありました。その中でも、まず複式学級は改善していかなければならないのではないかという話になりました。そこで、八郷地区に関しましては、二段階で八郷中学校に合わせて大規模な小学校を創ろうということになりました。わずかこの1ページなんですけど、1回では収まらず2回、3回とかけて、その中でいろんな意

見の中でまとまったのが、この適正規模・適正配置の考え方です。

バスに関しても中学生はある程度の時間乗っていることができても、小学校1年生をそんなに遠くから1時間も2時間も乗せられないだろうという事で、この45分から50分という事であれば何とかなるんじゃないかというような話があったことは記憶しています。

その審議会の中でも、小規模校のいいところもあるけれども、やはりクラス替えというのには必要であろうという意見も多数ございました。勉強のことに关しましても各学年1クラスよりは2クラスあった方が、先生も2人いるわけですから、いろんな事で相談もできるでしょうし、人数が多い方がグループ分けで勉強する場合がありますので、少人数よりは多い方が良いのではないかと個人的には思います。それから、交通手段については、バス代を3,000円ほどいただいている。市内には統合前からバスを使っている児童生徒もいます。統合になって初めて使う人もいます。その基準となっているのが、もともと3,000円は負担していただいているところから値段が決まっているのかなと思っています。現在、石岡市はバス代として1億円ほど年間かかっています。そのうち利用されている方々からは3,000円の負担金をもらって全体で800万円から900万円、約1割程度保護者の負担を頂いているというところがございます。今後、小学校の統合が進むと、もっと多額の費用が市としてはかかるということになります。ただ、意見にもあった通り、「1人分ならいいのだけれども3人分の負担では大変だよ」というのも確かだと思いますので、そういう施策は市の方で考える部分なのかなと思います。ご存知のように銚田市だったと思うのですが、元々の路線バスの使用者は、定期代などの負担をしていただいているのですが、統合に関してのバス代は全部無料としているところもあります。それは、「学校統合は市の都合でやっているのだから市の方で負担すべきだ」というところもございます。皆さんもご存じのように、石岡市は交付税をもらっている自治体でございますので裕福ではございません。財源が決められておりますので、その一部を負担してもらっているという状況でございます。ただ、言ったように、2人3人となると大変だから、その辺りは考えてほしいなどの要望もありますし、市の財政もありますので、その辺りは考えなければならぬかなと思います。

それと、小学校と中学校とで一番違うのが、自転車で通学できない。許されていないと思います。中学生だとある程度の距離であれば自転車で来ている。あるいは、公共施設を使ったりしてるんですが、家からバス停付近までは自転車という方もいます。ただ、小学生、1年生でその辺り自転車が乗れないという事もあると思いますので、その辺り検討委員会でいろいろ話し合って、きめ細やかな対応として中学校よりバス停も多くしなければいけないのかなと個人的には思っているところです。

(事務局・教育長)

私も実は教員になってから6年後に学校再編という経験もしています。私が最初に赴任した中学校なんですが、生徒数がだいたい120名という学校でした。それでやはり統合の話が出てきまして、統合になったわけなんです。そこで、小規模校であっても子どもたちは、本当に部活動も一生懸命やるし、学習にも取り組むし、学校行事にも一生懸命です。確かに

その良さもあったんですけども、統合再編で大きな学校になったときに、また、その学校に行ってみると、部活動の活力とか、いろいろとお互いに高めあったりとかというのが授業の中で見られる様子があったという事が当時を振り返ったときにそのように思っています。また、学校経営にもずいぶん携わっており、単学級の学校にも勤務したことがあります。やはり同じようにそこでも、子どもたちは、学習に励んで、また人間関係も暖かくて、そしてやはり地域の中で育てられて、本当にいい雰囲気子どもたちはのびのびと育っていました。その良さも私は十分に承知しているつもりです。さらに私はちょっと大きな学校にも勤務したこともございます。先程クラス替えの話が出ましたけれども、クラス替えはなぜいいのかと申しますと、人間関係を考慮したというのがあります。これは何かマイナスのイメージ的に捉えられがちですけども、確かにその部分は学級編成であることは確かです。ただ、私が考える学級編成というのは、子どもたちの個性を伸ばす、特性を生かす、そしてさらにそこで磨き上げる、能力を伸ばせる学級編成はどのようにしたら良いだろう、そこに視点を置いたものが学級編成なのではないかなと思っています。そうすると、いろんな子どもたちと触れ合う事で子どもたちはいろんな視点で視野を持って、広がった考え方を持つようになることができます。また、教員の方も、確かに人数が増えてきます。18学級になると、教員の配置数は22人になってきます。そうすると、教員は担任以外にもう一人教諭がつくこととなります。私が経験したのは、1学年3クラスの小学校なんです。そこで多様な学習方法をとることができます。例えば教科担当制であるとか、あるいは習熟度別、コース別、課題別学習などで3クラスを4クラスに分け、子どもたちと保護者から「どのコースで学習したいですか?」というアンケートを取って実践したこともあります。さらにそこで学びあって、そのグループもたくさんできます。そのグループでの高め合いであるとか、学び合いであるとかの機会にもなるのかなと思っています。また、学校行事等でも少人数でできる行事ももちろんございます。そこで個性を発揮できる子どももおります。また、大勢で取り組む行事といったことも非常に重要なことなのかなとも思います。例えば、小学校単学級の学校では縦割り班活動というのをやっているかと思っています。これも非常に良い取り組みです。上級生から下級生まで一つになる。以前は群れて子供たちが遊ぶという機会があったかと思っています。その機会を得るためにも、縦割り班活動というのは非常に効果的なんです。でも、これは大きなクラスになっても可能なんです。一クラスを例えば10のグループに分ける、それを今度は縦に分けるそうすると縦割り班活動が同じようにできる。そうすると、縦割り班で別れた子供たちがお互いに競い合ったり、助け合ったり、学び合ったりすることも可能になる。そういったことも含めまして統合再編につきましては、新しい学校をみんなで作り上げていくんだという、そして皆さんで合意形成をしながら、協議をしながら「どのような学校創りをしていこうか」、そんなスタンスで進めていくことが私は一番大切な事かと思っています。

(事務局・参事)

統合というところになりますと、いわゆるメリット・デメリットよくそういう言葉を聞く

と思いますが、メリット・デメリットあるのは確かでございますし、ただ、人によってメリットと捉える部分をデメリットと捉える方もおありなのかなというところがあります。そうなるといつまでたっても決まらない。では何をポイントにするのかというのを個人的に考えると、やはり子どもたちのことかなと思います。子どもたちがこれから学んでいくものは、記憶で一対一対応で答えがあるものではなくて、主体的で対話的で深い学びをしていかなければならない。多様な考え方や意見に触れながら自分に合う人、いわゆる合わない人とも折り合いをつけて人間関係を形成していく力、そういったものがこれからの不透明な社会で生きていく、日本を支える子どもたちに必要なものなのではないかなと、個人的に考えております。

数年前まで、八郷中学校に勤務していた経験がございまして、一学年3名で卒業してくる学校と、一学年何十人というものが8校集まって一つ中学校になる。非常に大変で不安、期待入り混じる。学校によっては不安が大きい学校もあるのではないかなと危惧しておりましたが、中学校1年で入学してきたときの姿、卒業していくときの姿、実はその子たちが小学校6年生で卒業していく時の卒業式にも参加したので、その姿を見た時に、個人的には切磋琢磨、人間関係、いろんな幅広さそういったものが身についたのではないかなという風に感じております。これから先、いろんなアンケートやお話を聞くと、統合やむなしといったところではあっても、統合に前向きにいい方向に向かっていくきたいというようなご意見もあるようですので、その方向に向けて一步一步進んでいけばいいのかなという風に考えております。

(事務局・指導室長)

自分の経験談でお話させていただきます。先程参事兼総務課長の方からもお話ありましたが、実は、参事兼総務課長のお子さんの通っていた朝日小学校と私が勤めていた小桜小学校がちょうど統合した時期に在籍しておりました。それまで私のクラスは11名だったのですが、朝日小学校の同じ学年のお子さんたちが9名ということで、全部で20名のクラスになりました。それまでにも何回か交流していましたので、お互いに顔も名前も知っている状態で新しいクラスがスタートしたんですけれども、一番最初に子供たちが言ってくれたのが、「これからは中当てるじゃなくてドッジボールができね」と中当てというのは大きな丸を描いて、周りに人がいて中にいる子たちを当てるといふ、ドッジの丸版のようなものなんですけれども、きちんとしたドッジボールのコートを描いてみんなのできるのがすごうれしいと言ったのが、自分ですごく印象に残っています。もちろん教員としては11名の子供たちに対してどのような学習指導をしていくのか、自分なりに教材研究して取り組んできたところなんですけれども、そこに9名の子供たちが加わってくれたことで、その子供たちに対してまた新しい学びを持ってほしいという風に、自分の中でどうしたら子供たちが一生懸命勉強してくれるかなという風に、教員として子どもたちにどう関わったらいいかという事を学ばせていただく機会にもなったかと思っております。あと、もう一つの経験は、保護者の皆様、つくば市の秀峰筑波義務教育学校というのをご存知でしょうか。つくば市の

旧筑波町の中学校2校と小学校9校が一緒になった学校がございます。まだ開校して2年くらいなんですけれども、私はその前の筑波東中学校というところに勤務しておりました。

筑波東中学校と筑波西中学校、それぞれつくば市は小中一貫教育を薦めておりましたので、それぞれの中学校を中心として小中一貫の取り組みを行っておりました。その中で私が勤務していたのが平成24年からなんですけど、もうその頃から旧筑波町全部の統合の話が出ておまして、徐々に進み始めていたんですけど、どちらかというと子どもたちを中心にして、さらに保護者の方も巻き込んでの準備委員会として続いていました。すごく良かったなと思ったのは、保護者の方々が、特にお父様方が「おやじの会」というのがあったんですけど、最初は筑波東中学校区の5つの小学校と1つの中学校の中のおやじの会で一緒になって行動して下さって、それから、筑波西中学校の中にも広がって行って、おやじの会のネットワークが広がり、さらに統合に向けて皆さんが力を合わせて進んでいって下さったという思い出があります。

子どもたちが一緒になったときの笑顔といいますか、一緒になってよかったなと、教員として思えたこと。それから、秀峰筑波の義務教育学校を創るために、保護者の方が一緒になって委員会を立ち上げて秀峰筑波の制服を考えたりとか、校則を考えたりとか、そういったところまで、教員だけではなくていろんな保護者の方にも入っていただいているいろんなことが進められたことがすごくいいなと思いました。先程事務局からも、時間をかけて統合の方向で進めていきたいというお話がありましたが、教育委員会だけがとか市だけがというふうに進めていくのではなく、子どもたち、保護者の皆様、それから地域の皆様が納得して協力し合って進めていける形ができればと思います。

(参加者)

統合について、子どもたちにより良い環境を作って学ぶことについては、私も賛同なのかなと思います。その統合に関して2点要望があります。先日行われました城南中学校の統合で、当時城南中に通っていた保護者さんからの意見や話を聞いてみると、もっとああしたほうがいいんじゃないかとか、もっとこうしたほうがいいんじゃないかとか、といったような意見がたくさん聞こえてくるんですね、私たち、統合する意見もそうなんですけど、それ以外に、統合した後の親御さんたちや児童さんたちの反応とかそういったものを汲み取って、より良い統合の仕方に持ってほしいなと思います。もう一点なんですけど、バス代について、石岡市はお金がないという情勢なのは、私たちも薄々わかる部分ではありますけど、確かに負担するのって大きいんです。2月で3,000円ってやっぱり負担額って大きいんです。財政の方が厳しいので払ってくださってと言われても、やっぱり一家族、一個人としては、そんなの正直関係ありませんので、ここで、そうやって抑え込むような発言はやめていただきますようよろしくお願いいたします。意見としてちゃんと聞いてくださいますようお願いいたします。要望は以上です。

(事務局)

ありがとうございました。

(参加者)

先程は無理なお願いで事務局の皆さんからご意見いただいてありがとうございました。やはりここにいる小規模の小学校に通わせている保護者の皆さんとそれから大規模のメリットというのをいろいろ伺って、本当にどっちもいいことであると思うんですけども、バス代のこと然りいろいろお聞きすると、保護者として感じているのは、平等だという事が大事だと思います。どうしても中学校の統合だと、吸収されたという印象を持ってらっしゃる方も多くいるという話もあるので、行政の方々にお願いしたいのは、極めて平等な、バス代にしても距離にしても規模にしても、平等な判断をしていただけるように進めていただければと思います。欲を言えばそこに石岡らしさというのが加わればいいんじゃないかなと思います。今日は本当に突然のご意見頂戴いたしましてありがとうございました。

(参加者)

今回こういった会に入ってきて、「教育委員会の方がいらっしゃった」というような壁があったんですが、ただ、先程副会長の方から話があった時に、せっかく座ってらっしゃるんですからお話をというところで、皆さんの方から、保護者としての立場という話が聞けたのがすごくよかったと個人的には思っております。と言うのは、私たち三村小学校に通わせる親として、三村小学校のいいところは、少人数が故の距離の近さというのがあるんですね。そうやって前に座ってらっしゃいますと、私たちも身構えてしまいますし。私が推測するに、教育委員会の方々も、いろんな意見が出て来て嫌になってしまう部分ってあると思うんです。そういったところを、親の立場というお話が聞けたことで、私たちも少し距離が違ってくるのかなと感じております。やむなしという意見が出ていて、おそらくそうなるんだろうなというどうしてもネガティブな雰囲気が大人同士だとどうしても漂うんですけど、今日私この会に来るときに、次男に言われたのが、「お父さんどこ行ってくるの？」って言われた時に「お前の学校の合併だよ」って言うと「わかった」って声がすごい前向きなんです。子供が前向きなのに親が後向きってのはどうなのでしょう、自分たちの子供に、今から「はぁ」って言って行くのか、そういうところになってくると思うんです。自分たちも家では教育をしていくわけなんですから、その子どもたちの前で、ポジティブではなくてネガティブなことを言うのかと言われたら、基本的に学校でもポジティブにというか、いいように持っていくように話をすると思うので、家庭でもそんな話ができるように統合というのは必要なんじゃないかと思います。そのためには、このような会もそのようなお互いの立場というものを、あまり壁を作らずに、そういう雰囲気できたらいいなと個人的には感じました。